

平成23年度
蓮田病院統一標語

優

やさしさ

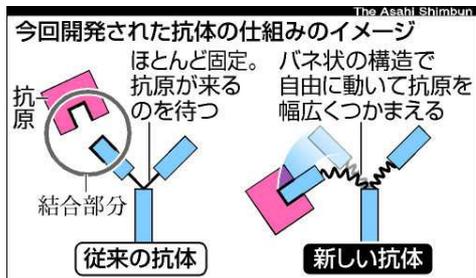
血液一滴で
病気早期診断
ノーベル賞の田中
氏ら新技術

病気に特有のたんぱく質を、従来の100倍以上の感度で血液から見つけ出す技術の開発に、ノーベル賞受賞者の田中耕一・島津製作所フェローらが成功した。

血液1滴での診断につながる成果。日本学士院発行の英文科学誌電子版に11日発表する。

体内では、通常はないたんぱく質(抗原)が侵入すると、これと結合して攻撃する免疫物質(抗体)が作られる。抗体はY字形で、2本ある腕のうち1本で抗原と結合するが、田中フェローらはその構造を人工的に改変。Y字の根元部分に、弾力性のある高分子化合物「ポリエチレングリコール」を挿入した。これをバネとして腕が柔軟に動き、2本同時に抗原と結合できるようにした。

アルツハイマー病に関わるたんぱく質の断片を抗原として、新開発の抗体を試したところ、通常の抗体より100倍以上、強力に抗原をつかまえた。田中フェローは「病気の早期診断や、抗体を用いた薬開発に結びつく技術」と話している。



(2011年11月9日14時12分 読売新聞)

蓮田病院理念
“思いやりのある
やさしい医療”
“最新の高度医療”

発行：蓮田病院広報部
連絡先：048-766-8111 蓮田病院総務課
発行日：平成23年12月20日

このたびの東日本
大震災により被災され
た方々、ご家族の皆さま
に心より
お見舞い申し上げます。
蓮田病院職員一同



キャンドルサービス

平成22年12月21日(水)午後6時より、
歌と楽器のアンサンブル「あじさい」の出演により開催を予定しています。

年末年始のご案内

12月29日午後より1月3日まで休診となります。

一生涯現役をめざして

日本人の死因はご存知の方も多いでしょう。厚生労働省が本年9月に公表した「死因順位」では、例年通り悪性新生物(がん)が1位(29.5%)、続いて心疾患(15.8%)・脳血管疾患(10.3%)となっています。では世界保健機構(WHO)の発表ではどうでしょうか？実はWHOによると死因の1位は虚血性心疾患(17.1%)、続いて脳血管疾患(9.8%)、呼吸器系悪性新生物(5.8%)となっています。

随分日本と違いますが、これは悪性新生物をいわゆる「肺がん」「胃がん」など個別に分類しているためです。原因が異なる様々ながんを全て「悪性新生物」とまとめてしまうのは乱暴すぎる気がしますし、またこの記事が「虚血性心疾患」に注目するきっかけになれば…と思います。

「虚血性心疾患」とは「狭心症」や「心筋梗塞」などの病気のことです。この病気の原因は「動脈硬化」つまり「血管の老化」です。虚血性心疾患は「全ての人に起こる病気」と言えます。

心筋梗塞は発症直後の死亡率が極めて高い疾患です。このため、全国で最も医師が少なく救急医療が手薄な埼玉県では、「心筋梗塞になる前」つまり「狭心症」の発見や予防が特に重要だと感じております。ただ、狭心症は「問診」が重要とされていますが、外来の混雑の中でゆっくりと患者様の訴えを聞く余裕がないのが現状です。

私は虚血性心疾患を専門としておりますが、「診察・治療がすめばかかりつけの医院に帰っていただく」というスタイルのため、外来でじっくりと患者様の話を聞く余裕があります。胸の症状で不安のある方はぜひ一度ご相談にいらしてください。

顕正会蓮田病院 循環器内科医長 那須 学
埼玉よみうり新聞に平成23年12月2日掲載

蓮田病院公開講座のお知らせ

日時：平成24年2月3日(金) 14:00~15:10
場所：蓮田病院C棟6階 談話室
内容：1. 高齢者肺炎の予防と治療
2. 高齢者における栄養管理の必要性

総合診療科医師(石田孝雄)
管理栄養士(高橋佳菜)

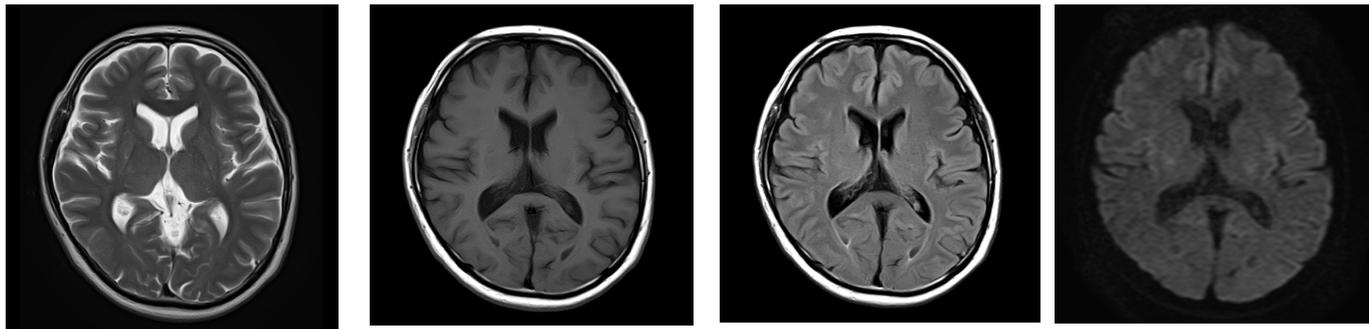
参加無料 問い合わせ：蓮田病院 病診連携室
Tel 048-766-3660

《MRI検査について》

MRIとはMagnetic Resonance Imaging(磁気共鳴イメージング)の略で、従来からあるX線や超音波などは一切使用せずに、磁石から発生する『磁力』とラジオのような『電波(電磁波)』を使用して人体の断面を観察する装置です。

MRIでは人体を構成している最もおおものの『原子核』特に水素原子核から信号を収集しています。人間の体は約70%が水分で、脂肪を含めると約90%にも及びます。その水および脂肪の構成原子である水素原子核の挙動を画像化すれば人体内の状態を知ることができます。

撮像する画像は、CT画像の様な輪切りの断面の他、人体を縦に切った画像や斜めに切った画像など、見たいところが最も観察しやすいような断面を自由に設定することができます。さらに、撮像する条件を変化させることで、同じ断面でも、違ったコントラストの画像(いろいろな色の写真)を得ることができます。いろいろな色の写真で見ることで、写っているものがなんなのかという診断がしやすいという長所があります。下の画像は頭のMRI画像です。同じ断面でも、コントラストの違う画像を何種類も撮像することができ、多くの情報を一回の検査で得ることができます。



しかし、MRIは『磁力』と『電波(電磁波)』を用いているがゆえに、検査ができない場合があります。たとえばペースメーカーなどの機械が入っている方や、MRIに対応していない金属などを手術などで入れた方は検査ができない場合があります。なにか検査を受けるに当たり心配なことがある方は当院放射線技師にご相談頂ければ幸いです。

当院における個人情報の利用目的

◎医療提供

- ▲当院での医療サービスの提供
- ▲他の医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ▲他の医療機関からの照会への回答
- ▲患者様の診療のため、外部の医師等の意見、助言を求める場合
- ▲検体検査業務の委託その他の業務委託
- ▲ご家族等への病状説明
- ▲その他、患者様への医療提供に関する利用

◎診療費請求のための事務

- ▲当院での医療・介護・労災保険・公費負担医療に関する事務およびその委託
- ▲審査支払機関へのレセプトの提出
- ▲審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- ▲公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答
- ▲その他、医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する診療費請求のための利用

◎当院の管理運営業務

- ▲会計・経理
- ▲医療事故等の報告

▲当該患者様の医療サービスの向上

▲入退院等の病棟管理

▲その他、当院の管理運営業務に関する利用

◎企業等から委託を受けて行う健康診断における、企業等へのその結果の通知

◎医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等

◎医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料

◎当院内において行われる医療実習への協力

◎医療の質の向上を目的とした当院内での症状研究

◎外部監査機関への情報提供

[付記]

1. 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨をお申し出ください
2. お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
3. これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です。

旬を撮る 秋月副院長のおつまみ 里芋の柚子みそ



里芋の日本への渡来は、稲作が始まった縄文時代後期より古いとされています。山に自生するやまのいも(自然薯じねんじょ)に対し、里で栽培されることからこの名がついたとされます。里芋は口に含むと土くさい香りを感じ、太古の昔の人々も味わったのかと想いがめぐります。親芋から子芋、孫芋がどんどんできるので、子孫繁栄の象徴として縁起物あつかいされてきました。秋の名月には団子を供えますが、これは昔里芋を供えていたなごりです。

作り方

1. 里芋の皮をむき、1cmほどの厚さに切る。
2. 切った里芋の周りに片栗粉をまぶす。
3. フライパンに油を敷き、こげめが付くまで3分ほど焼く。
4. 柚子みそは、味噌大さじ1、みりん大さじ1、しょう油小さじ1、柚子のしぼり汁小さじ1、をまぜる。
5. 柚子の皮の千切りを散らす。

低カロリーで食物繊維も豊富です。独特の「めめり」がありますが、これはムチン、ガラクトンという成分によるもので、ムチンには消化促進、ガラクトンには免疫力向上作用があるとされています。寒い時期、免疫力の向上、風邪予防にも召し上がってはいかがでしょうか！
保健師と管理栄養士のふたりごと